



■研究のきっかけ

国連が2015年に策定したSDGsは誰一人取り残さない社会を目指し、先進国と途上国のみんなが一丸となって取り組む目標が定められています。「では、個人の単位としては、どう取り組んでいけばいいのだろうか」。もともと、途上国を支援するJICAに勤務していたこともあり、その命題に興味を持ったことが研究に取り組むきっかけになりました。

■研究内容

大きくは2つのことに取り組みました。一つは「若者世代(18～30歳)はSDGs世代か」ということを検証するために、インターネット調査で、SDGsに関連するライフスタイルにおける世代効果や、若者の就職の際の会社選びを分析しました。

もう一つは、一般消費者が、商品の購入や転職の際に、企業のSDGsの取り組みを選択基準にしているかどうか、を分析するために、日本人約6000人を対象にオンライン調査を行いました。

■研究から見たこと

もべ申b子